

平成28年度 国際理解講演会

9月30日(金)6限目に、本校図書室で、1年生～3年生の国際情報文化学科116名を対象に国際理解講演会が実施されました。講師は、オーストラリア留学センターの坂本さん、加藤さんです。

当日はパワーポイントの資料を見ながら、海外留学の仕組みや実情などデータに基づいたお話をうかがうことができました。

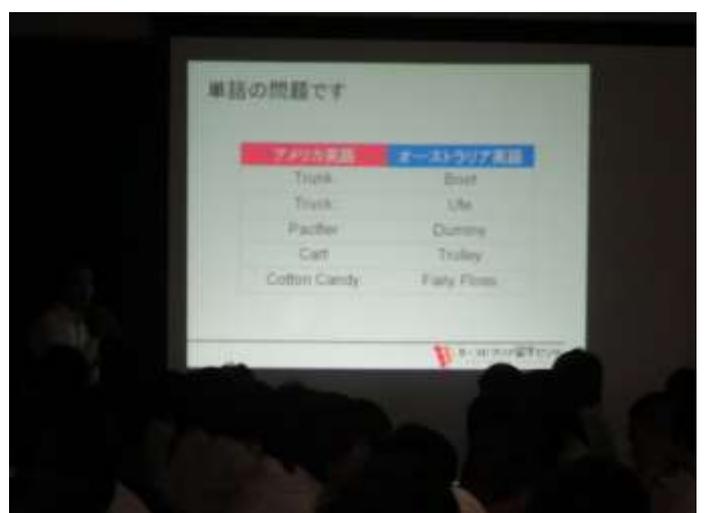
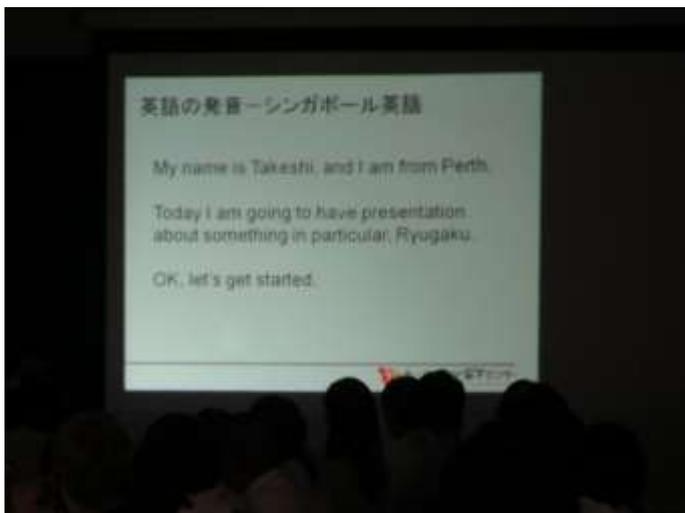
特に坂本さんからは「元々英語は大の苦手、日常会話もままならない状態で、オーストラリアの語学学校へ。その後メルボルン大学大学院を卒業し、日本の商社で海外取引に約3年従事。大学院や商社時代に、各国の学生が海外へどんどん飛び出し活躍する姿を目の当たりにする一方、日本の縮小を実感し、日本の学生の海外留学をサポートすることを決意し転職。在住するオーストラリアのパスで留学アドバイスや、日本各地の高校や大学で、留学やグローバルキャリアについての講演や授業等を行っている。」という経験談をお聞きすることができ、より一層、海外留学や海外で働くことへの興味を深めることができました。

講演会後も、熱心に留学や就職についての質問をしている生徒たちがおり、国際交流についての理解を深めるよい機会となりました。



「英語」という一つの言語であっても、使われている国によって特徴がある！

アメリカとオーストラリア(イギリス英語)でも、単語が違う！



海外に留学をすることによって得られるものは！

「海外で」「海外の人と」仕事をするということ
は！



【生徒の感想】

- ・英語が苦手でも留学・大学進学できると聞いて、留学に興味がわきました。
- ・ビジネスシーンで様々な国と付き合いしていくのは大変なんだと思いました。発音の違いだけでなく、文化の違いなどを乗り越えなければならないことがよくわかりました。
- ・英語を話せるだけでなく、その国の文化や生活習慣を知ることが大切ということを改めて感じることができました。
- ・改めて留学に魅力を感じました。自分にもチャンスがあるなら留学したいと思いました。
- ・今まで知らなかった海外への留学について知ることができてよかった。
- ・留学によって学べるのが、語学や文化だけでなく、社会に出る上で、国内・国外に関わらず役立つような力もあるというのが、とても魅力的だと思いました。
- ・社会に出ると、自国の文化との差に困ることや、それを上手く理解しなければならない難しさと付き合いがなければならないことが分かった。留学に対する考え方や意欲が以前より大きくなりました。
- ・大学で留学を考えているので、すべての話が印象的でした。「工夫と創造性」を意識して留学に臨みたいです。
- ・これからもっと英語は主流な言語になっていくと思うので、留学もしてみたいし、もっと英語力を身に付けたいと思いました。
- ・仕事は経験と偶然の積み重ねだという言葉が心に響いた。
- ・留学や海外の人たちとつながりのある仕事に興味をもちました。
- ・留学することで、自分の見る世界が広がっていくのだとわかりました。留学してみたいと思いました。